



令和4年度

松浪小だより

第14号

学校教育目標……『豊かな心を持ち、自律して行動できる子』を育む学校

目指す子供像…『・進んであいさつする子・自ら学び、自分の考えが言える子・人の話が聞ける子
・元気よく友だちと遊ぶ子・進んで仕事をする子』

理想とする学校像……「共に学び 共に歩み 共に創る」

- ①児童や教職員が生き生きする学校
- ②保護者や地域から信頼される学校
- ③教職員が互いに研ぎ合う学校

令和5年2月28日(火)発行

茅ヶ崎市立松浪小学校 校長 安倍 武雄

オワリ はじまり



浜須賀中学校の3年生が職場体験に来ました。本来は2年生の行事ですが、この3年生たちはまさにコロナ禍で、職場体験ができなかったのです。中学校から相談があったとき、二つ返事で引き受けました。「小学生から元気をもらいました」「小学生のころを思い出しました」「母校に帰ってきたって感じです」…。様々な思いを胸にあと少しの義務教育期間を楽しんでもらいたいと思います。

中学校がらみでは、松浪中学校、浜須賀中学校の両校から5人の先生方がいらして、6年生に出前授業をしてくださいました。穏やかな語り口で、それでも中学校らしい知性がくすぐられる授業でした。6年生の子供たちも、先生方の様子、授業の様子を具体的に体験することができて安心することができたに違いありません。



職員玄関に小さなかわいい靴がたくさん並びました。近隣の保育園、幼稚園からの学校見学です。教頭先生の案内で学校図書館や、1年生の教室をめぐる。たった1年しか変わらないのに、「かわいい！」

「まってるよ！」と声をかける1年生がちょっとおにいさん、おねえさんに見えるから不思議です。その1年生は、卒業する6年生のために、体育館に飾る壁面飾りを作りました。「こころの花」なのだそうです。きっと、いっぱい遊んでもらった6年生への思いを精一杯表しているのでしょう。



5年生の教室に向かう階段には、最高学年となるための1か月の思いを5年生の一人一人が表明しました。イメージだけでなく言葉にして残すことできっと確固とした自分の決意となることでしよう。



うしたら仲よくなれたら
 2. 5年生とのふれあいでどうしたか どうしたら仲よくなれたか
 3. 6年生になって1番のほこり、1番の思い出は？
 4. 5年生に伝えたいこと

あるクラスでは、総合的な学習の時間を使って6年生にインタビューをしました。
 ○「1年生とのふれあいでどうしたら仲良くなれましたか」→「1年生とは今でもたまに遊んだりしています。特別扱いたくないで普通の友達として付き合いました。」
 ○「5年生に伝えたいことは何ですか」→「最後の小学校生活楽しんで。委員会もね。」
 こんなやり取りができる高学年がとても素敵です。頼りがいのある高学年です。

この時期学校は、全てが終わりに向かいます。決して私たちは「時間切れ」で終わることをしません。これまでの1年間の成長をその学年なりにふりかえり、自分たちのこれからと、自分たちに続く者たちへのつながりを意図的に持たせています。

中学校3年生はいまでも、自分たちの面倒を見てくれた6年生のことを覚えているそうです。自分が面倒を見た1年生が4年生になって立派に活動しているのを見て感動したそうです。町で会って声を交わすことはしないけれど、「あっ」と心が動くのだそうです。それは、まさに「松浪小の文化」と言えます。終わることは始まることそのものです。あと1月を精一杯過ごします。

もうすぐ今日が終わる
 やり残したことはないかい
 親友と語り合ったかい？
 燃えるような恋をしたかい
 一生忘れないような
 出来事に会えたかい
 かけがいのない時間を胸に
 刻み込んだかい

かりゆし58
 前川真悟 作詞・作曲
 「オワリ はじまり」より

♪ ☆ ★ 開校記念日 Part 4 ★ ☆ ♪



2月6日は開校記念日でした。今年で66歳となります。
 この冊子は創立50周年を記念して作成された「わたしたちの松浪」という資料集になります。校歌や校章の由来、地域の文化財や松浪小の歴史などが子供たちにもわかるような優しい言葉で示されています。
 あじさい園がなぜあるのか、仔馬はどうしてそこにいるのか、職員玄関前の置石はなに？体育館の北の雑木林はなんのため？…
 この冊子にはそんな松浪小学校の歴史がたくさん詰まっています。学校図書館にも配架されています。ぜひ一度ご覧になってみてください。たくさんの新発見や、卒業生の方なら「なつかしー！」と声をあげたくなるものがたくさんあるはずですよ。